

私学高等教育研究所 第72回公開研究会

中期計画とガバナンス・コードの策定

日時：2019年12月9日(月) 13:30～16:45 (受付：13:00～)

場所：アルカディア市ヶ谷 3F「富士・東の間」
東京都千代田区九段北 4-2-25 ☎03-3261-9921(代表)

主催：日本私立大学協会附置私学高等教育研究所

今春の私立学校法改正に伴い、文部科学省は、法律及び政省令の2回の施行通知で所要の取り組みを私立大学に求めている。まず、寄附行為の作成例を示しており、12月以降変更認可申請が必要となる。役員名簿、収支計算書、事業報告書等がHPで公表されることとなり、その様式の参考例が示されている。このほか、役員報酬基準の明確化など、多岐に渡る変更となる。そのうち、新たに作成が義務付けられた中期計画については、抽象的ではなくデータやエビデンスに基づくことが望ましいとされ、認証評価の結果を踏まえて、複数年度に渡る計画であることとされている。今回の公開研究会では、中期計画とガバナンス・コードの策定等について、その背景と対応を協議し、今後の大学運営における課題を明らかにしたいと考えている。

1. 講演

「中期計画の作成のポイント」

講師：野田 文克氏 (日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 次長)

令和2年4月1日に行われる私立学校法の一部改正では、中長期計画の作成や経営力の強化など、学校法人の自律的で意欲的なガバナンスの改善や経営強化への取り組みがこれまで以上に求められることになる。

この私立学校法の改正の中心となる中長期計画の作成～実施～検証までのポイントや作成事例などを紹介する。

2. 講演

「ガバナンス・コードの策定例と活用に際しての課題」

講師：高祖 敏明氏 (聖心女子大学 学長)

1) 大学ガバナンス・コードの策定例を、大学監査協会版に基づいて紹介する。2) その問題意識、策定の背後にある思想は何かを吟味する。3) ガバナンス・コードをどう展開することが期待されているのか、その際の課題は何かについて考察する。

休憩

3. パネルディスカッション

「私立大学の自律的、中長期的な経営体制の確立に向けて」

パネリスト：高祖 敏明氏 (聖心女子大学 学長)
西畑 一哉氏 (二松学舎大学 常任理事)
野田 文克氏 (日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 次長)
西井 泰彦氏 (私学高等教育研究所 主幹)
モデレーター：田中 義郎氏 (私学高等教育研究所 研究員、桜美林大学 常務理事・特命副学長)

お申し込みは…

日本私立大学協会 web サイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) “お知らせ” の本件から「申込フォーム」に記入の上、11月29日(金)までにお申し込み願います。

*会場の都合により先着120名、1機関3名迄とさせていただきます。参加料は無料です。

*ご欠席の場合は、必ず下記問い合わせ先までご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

*ご登録頂いた情報は、本研究所の事業運営の活動に必要な範囲に限って利用致します。

【問い合わせ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 坂下景子、高山亜弓 TEL：03-5211-5090